

本調査は、小規模事業者の皆様の事業活動支援の一環として、市内5業種130社の小規模事業者等を対象とした景況並びに経済動向等の調査を4半期毎に実施し、集計分析を行っております。

2022年7月から9月の調査結果がまとまりましたのでご報告させていただきます。

【調査期間】 2022年7月～9月

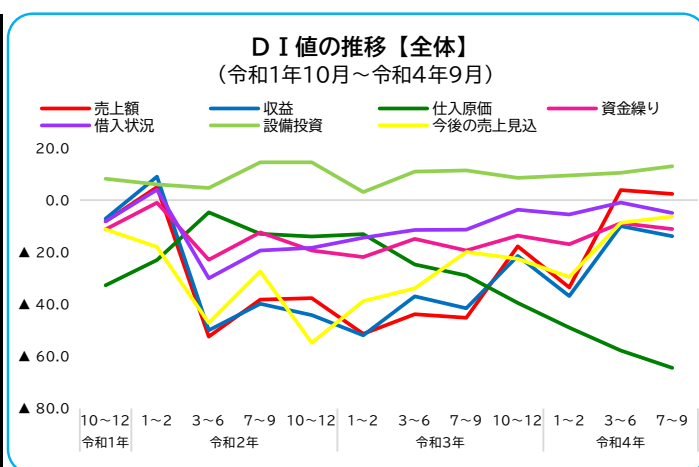
【調査方法】 建設業・小売業・卸売業・製造業・観光サービス業の5業種、合計130社を対象にアンケートを実施。
(回答企業数106社、回答率81.5%)

【DI値の算出方法】 ①かなり増加等=1、②やや増加等=0.5、③不変=0、④やや減少=▲0.5、⑤かなり減少=▲1とし、 $(①+②) / 全体数 \times 100 - (④+⑤) / 全体数 \times 100$ でDI値を算出する。

※選択肢の目安：「かなり」=20%以上、「やや」=5～20%未満、「不変」=0～5%未満

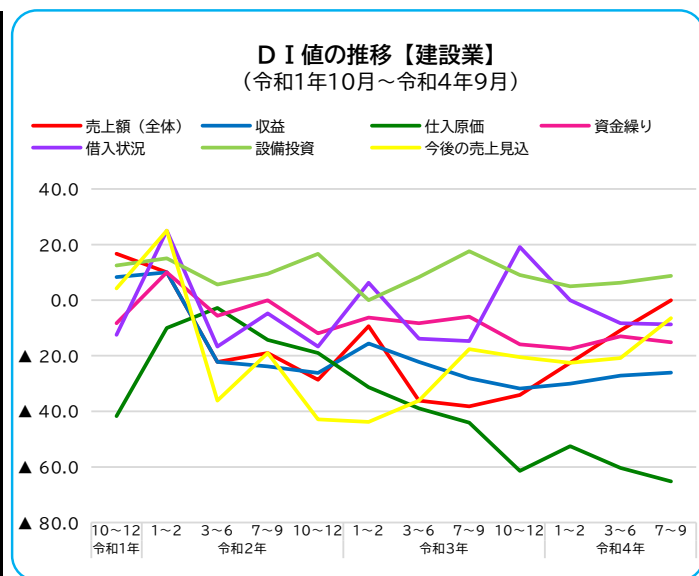
問1 今期の貴社の状況は、昨年と同じ時期と比較してどうですか。また、今後の見通しはどうですか。

全体		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	12	29	25	26	11	減少	2.4
収益	増加	7	20	28	35	14	減少	▲13.9
仕入原価	低下	1	0	7	56	40	上昇	▲64.4
資金繰り	好転	1	8	64	29	2	悪化	▲11.1
借入状況	減少	2	6	79	12	4	増加	▲4.9
設備投資	増加	6	17	79	2	0	減少	13.0
今後の売上見込	増加	4	31	28	28	12	減少	▲6.3



2022年3月から9月におけるDI値は、昨年同期と比較して仕入原価を除くすべての項目で改善されており、売上額で47.6ポイント、収益が27.6ポイントの改善となっている。また、売上額についてはかなり増加、やや増加と回答した企業(41社)が、やや減少、かなり減少と回答した企業(37社)を上回ったが、仕入原価については35.5ポイント悪化しており、96社がやや上昇、かなり上昇と回答されている。また、観光サービス業については新型コロナウイルス感染症の感染者が増加する中で、行動制限緩和により売上額の増加が前回調査(DI値41.7ポイント)と比較して13.9ポイント改善するなど明るい兆しがあるものの、現在直面している問題点でも、仕入価格の上昇をあげられる企業が76%あり、全業種において深刻な状況となっている。

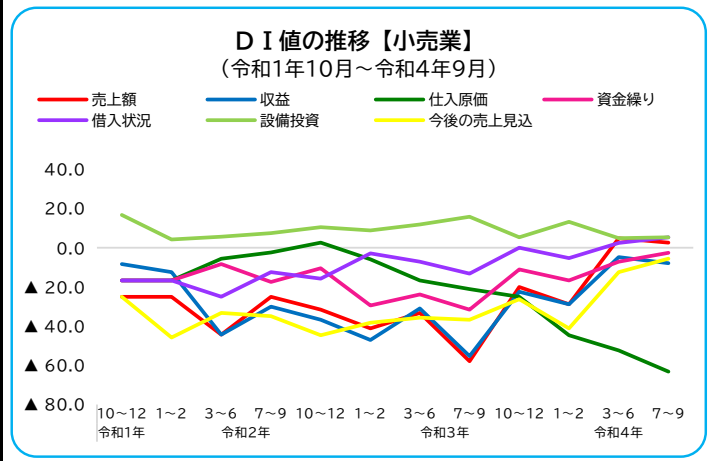
建設業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	3	4	8	6	2	減少	0.0
公共工事(元請)	増加	2	1	4	6	4	減少	▲26.5
民間工事(元請)	増加	4	2	9	6	1	減少	4.5
下請工事	増加	2	5	6	3	2	減少	5.6
収益	増加	0	3	9	7	4	減少	▲26.1
仕入原価	低下	0	0	4	8	11	上昇	▲65.2
資金繰り	好転	0	2	12	9	0	悪化	▲15.2
借入状況	減少	0	1	18	3	1	増加	▲8.7
設備投資	増加	1	2	20	0	0	減少	8.7
今後の売上見込	増加	1	5	7	10	0	減少	▲6.5



*公共工事なし6件、民間工事なし1件、下請工事なし5件

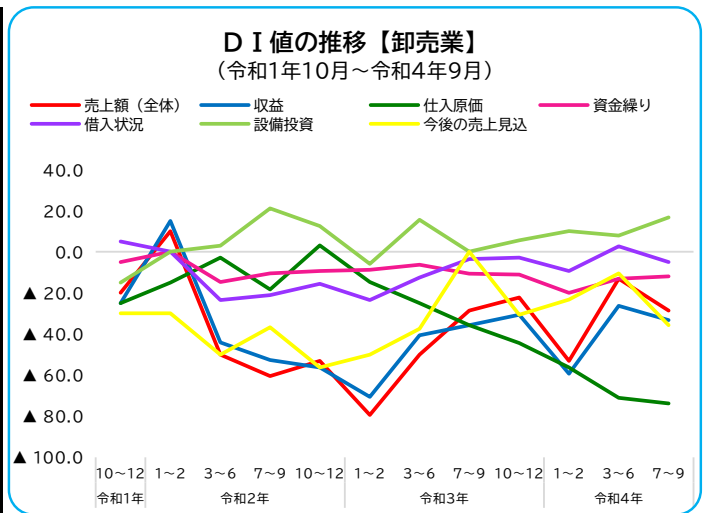
建設業のDI値は、昨年同期と比較して全体の売上額が38.2ポイント改善している。元請工事は公共・民間とも23.5ポイント、29.5ポイント、下請工事については15.6ポイント改善している反面、やや減少、かなり減少と回答する企業数が、やや増加、かなり増加と回答する企業数を上回り、かなり減少と回答のあった企業の中には50%、70%の減少とする企業もあった。また、今後の売上見込は昨年同期と比較して11.1ポイント改善傾向にあるものの、仕入原価については▲21.1ポイントとなっており、仕入価格の高騰による影響がうかがえる。

小売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額	増加	2	6	4	5	2	減少	2.6
収益	増加	2	4	5	5	3	減少	▲ 7.9
仕入原価	低下	0	0	1	12	6	上昇	▲ 63.2
資金繰り	好転	1	1	13	4	0	悪化	▲ 2.6
借入状況	減少	1	2	14	2	0	増加	5.3
設備投資	増加	0	2	17	0	0	減少	5.3
今後の売上見込	増加	1	6	3	6	2	減少	▲ 5.6



小売業のDI値は、昨年同期と比較して仕入原価と設備投資を除くすべての項目において改善傾向にあり、特に売上額60.5ポイント、収益47.4ポイント、今後の売上見込31.2ポイントそれぞれ改善している。しかしながら、仕入原価については42.1ポイント悪化しており厳しい状況となっている。《最近の売れ筋傾向》排出ガス（CO2）削減商品。他府県の方のほうか、お買い上げ金額が多くなっている。一部のお客様を除き全体的に低価格のものを望まれます。値上げによる影響が出ており、高級か低価格か、2極化が進んでいる。薬の副作用軽減、痛みでお悩みの方、美容、糖尿病、腎機能低下、うつ、不整脈、認知機能維持。

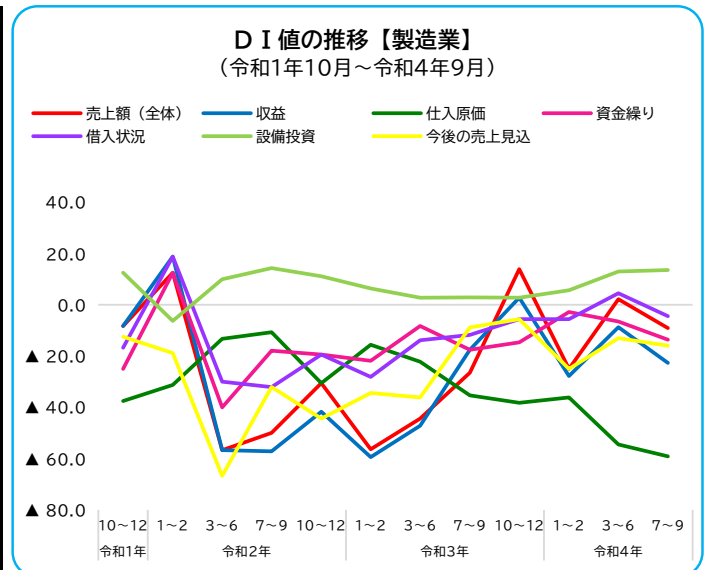
卸売業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	6	3	6	6	減少	▲ 28.6
市内売上	増加	0	4	5	6	6	減少	▲ 33.3
市外売上	増加	0	6	2	6	5	減少	▲ 26.3
収益	増加	0	3	4	11	3	減少	▲ 33.3
仕入原価	低下	0	0	1	9	11	上昇	▲ 73.8
資金繰り	好転	0	1	14	6	0	悪化	▲ 11.9
借入状況	減少	0	2	14	4	0	増加	▲ 5.0
設備投資	増加	1	5	15	0	0	減少	16.7
今後の売上見込	増加	0	3	7	4	7	減少	▲ 35.7



*市外売上なし3件

卸売業のDI値は、昨年同期と比較して市内売上6ポイント、収益2.4ポイントとわずかながら改善がみられるものの、売上額、収益などかなり増加と回答した企業はなく、仕入原価が38.1ポイント、今後の売上見込については35.7ポイント悪化している。かなり減少と回答のあった企業の中には、30%、50%の減少と回答する企業もあり、加えて仕入原価の高騰により先行き不透明な状況となっていることがうかがえる。

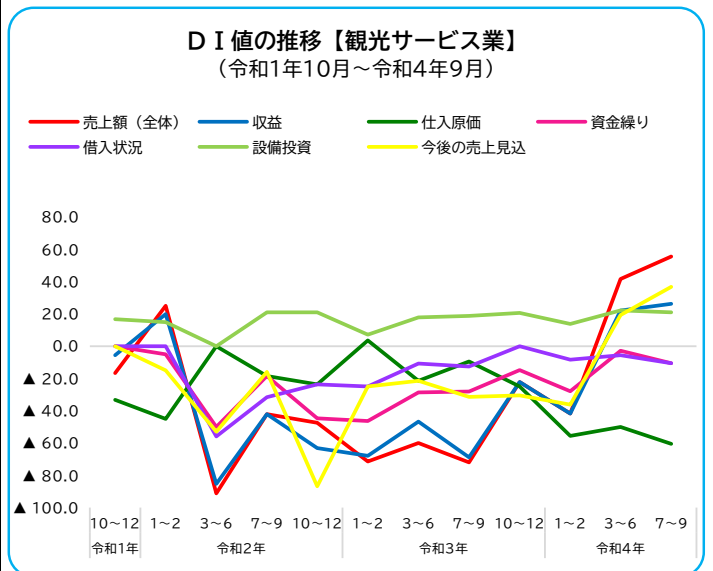
製造業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	0	6	7	8	1	減少	▲ 9.1
市内売上	増加	0	5	7	8	1	減少	▲ 11.9
市外売上	増加	0	4	8	5	2	減少	▲ 13.2
海外売上	増加	0	1	2	1	0	減少	0.0
収益	増加	0	5	6	7	4	減少	▲ 22.7
仕入原価	低下	1	0	0	14	7	上昇	▲ 59.1
資金繰り	好転	0	3	11	7	1	悪化	▲ 13.6
借入状況	減少	1	0	18	2	1	増加	▲ 4.5
設備投資	増加	2	3	16	1	0	減少	13.6
今後の売上見込	増加	0	5	8	6	3	減少	▲ 15.9



*市内売上なし1件、市外売上なし3件、海外売上なし18件

製造業のDI値は、昨年同期と比較して、全体の売上額17.4ポイント、市内売上14.6ポイント改善傾向となっているが、前回調査で改善傾向にあった売上額、収益について、やや減少、かなり減少と回答のあった企業がやや増加と回答した企業を再び上回った。また、仕入原価が23.1ポイント、今後の売上見込7.1ポイント悪化しており、仕入原価の高騰による資金繰り悪化、借入状況増加など依然厳しい状況となっている。

観光サービス業		かなり	やや	不変	やや	かなり		DI値
売上額(全体)	増加	7	7	3	1	0	減少	55.6
地元売上	増加	1	5	11	0	1	減少	13.9
日本人観光客売上	増加	7	8	2	0	0	減少	64.7
インバウンド売上	増加	0	1	6	0	0	減少	7.1
収益	増加	5	5	4	5	0	減少	26.3
仕入原価	低下	0	0	1	13	5	上昇	▲ 60.5
資金繰り	好転	0	1	14	3	1	悪化	▲ 10.5
借入状況	減少	0	1	15	1	2	増加	▲ 10.5
設備投資	増加	2	5	11	1	0	減少	21.1
今後の売上見込	増加	2	12	3	2	0	減少	36.8



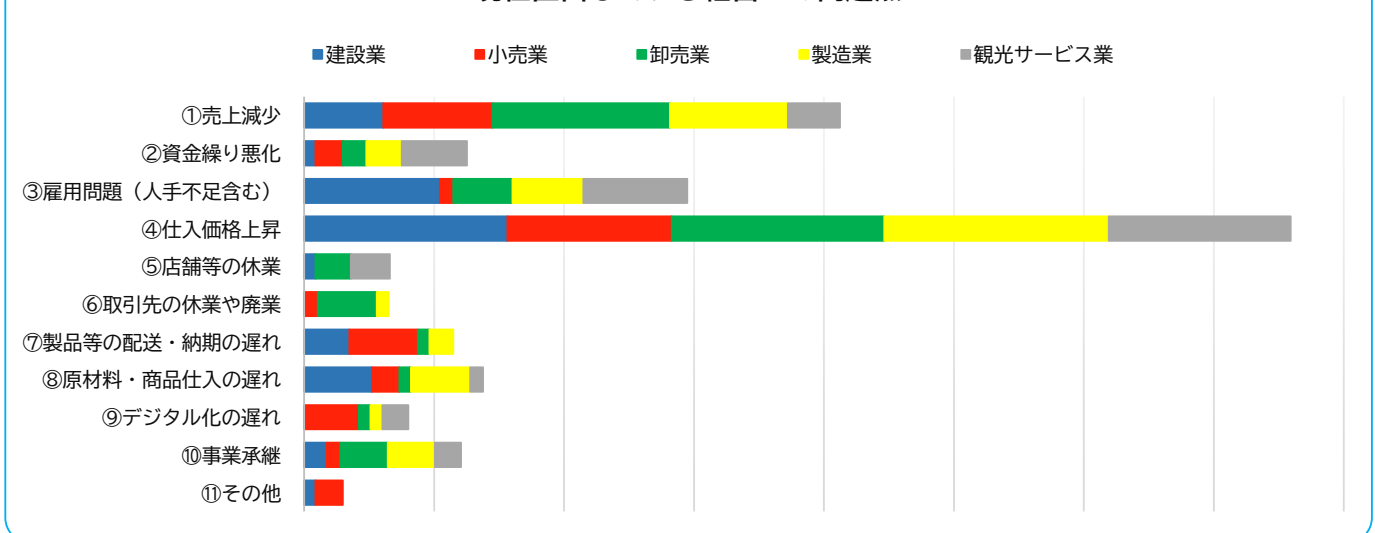
*地元売上なし2件、日本人観光客売上なし3件、インバウンド売上なし13件

観光サービス業のDI値は、昨年同期と比較して、仕入原価を除くすべての項目で改善傾向となっている。全体の売上額が127.5ポイント、日本観光客の売上129ポイント、収益についても95.1ポイントと大幅に改善されており、半数以上の企業がかなり増加、やや増加と回答された。しかしながら、仕入原価は51.1ポイント悪化しており、それに伴い資金繰り、借入状況について悪化、増加と回答された企業が好転、減少と回答した企業を上回った。

問2 現在直面している経営上の問題点（コロナウイルス感染症含む）についてお答えください。（複数選択可）

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①売上減少	7	8	15	10	4	44	42%
②資金繰り悪化	1	2	2	3	5	13	12%
③雇用問題（人手不足含む）	12	1	5	6	8	32	30%
④仕入価格上昇	18	12	18	19	14	81	76%
⑤店舗等の休業	1	0	3	0	3	7	7%
⑥取引先の休業や廃業	0	1	5	1	0	7	7%
⑦製品等の配送・納期の遅れ	4	5	1	2	0	12	11%
⑧原材料・商品仕入の遅れ	6	2	1	5	1	15	14%
⑨デジタル化の遅れ	0	4	1	1	2	8	8%
⑩事業承継	2	1	4	4	2	13	12%
⑪その他	1	2	0	0	0	3	3%

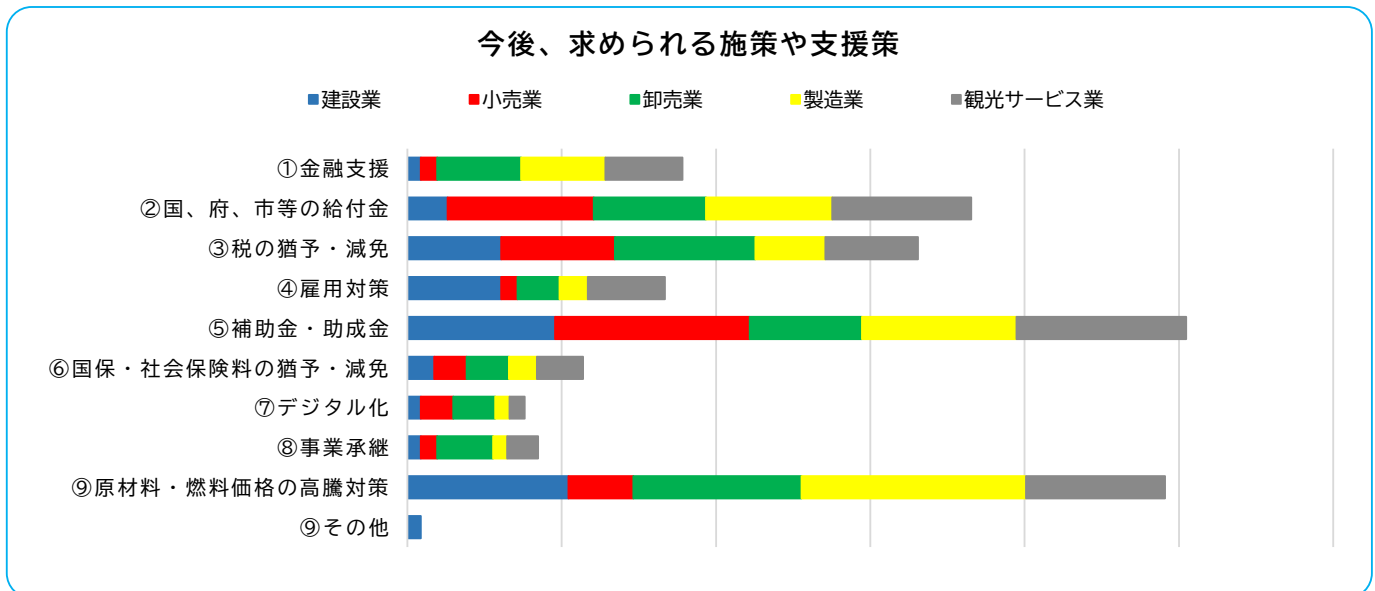
現在直面している経営上の問題点



《小売業》地元での需要の減少。人口減少に加え、高齢化による顧客減少。

問3 今後、求められる施策や支援策について教えてください。(複数選択可)

	建設業	小売業	卸売業	製造業	観光サービス業	合計	
①金融支援	1	1	6	6	5	19	18%
②国、府、市等の給付金	3	9	8	9	9	38	36%
③税の猶予・減免	7	7	10	5	6	35	33%
④雇用対策	7	1	3	2	5	18	17%
⑤補助金・助成金	11	12	8	11	11	53	50%
⑥国保・社会保険料の猶予・減免	2	2	3	2	3	12	11%
⑦デジタル化	1	2	3	1	1	8	8%
⑧事業承継	1	1	4	1	2	9	8%
⑨原材料・燃料価格の高騰対策	12	4	12	16	9	53	50%
⑩その他	1	0	0	0	0	1	1%



《建設業》作業員とされる日雇いの

ご協力頂きました事業所の皆さま、お忙しい中ありがとうございました。